



スペシャルオリンピックスとは、知的障がいのある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。



特集

ユニファイドサッカー 「夏季世界大会・アブダビ」遠征報告

# 世界の強豪相手に大健闘！ アブダビで大きな一歩を踏み出しました



対戦チーム	試合結果
vs SOチェコ	勝利 (6-1)
vs SOハイチ	惜敗 (1-6)
vs SOベルギー	引き分け (2-2)
vs SOブルキナファン	惜敗 (0-4)
3位決定戦	惜敗 (0-5)

発足から僅か3年、SON・長野サッカーチームは世界大会への切符を手に入れました。それは、日々の厳しい練習や試合での悔しい敗北、そして皆で喜び合った勝利を糧にして、チームメイト全員が成長してきた証に違いありません。本番では惜しくも4位 (Div.4) という結果でしたが、日本代表として勇敢に戦い抜いた彼らは私たちの誇りです。今回一緒に戦ったSON・京都のアスリートとパートナー含めて、チームの絆はより一層深まったことでしょう。アブダビでの健闘は決してゴールではありません。彼らは新たな目標に向けて、早くも再始動しています。これからもサッカーチームの応援をよろしくお願いします。



## 辿りついた場所は ゴールではなくスタートでした

3月6日より約2週間にわたり、「夏季世界大会アブダビ」に日本選手団として参加させていただけたことは、私の誇りであり、本当にかげがえのない経験でした。応援してくださった全ての皆様に感謝申し上げます。

帰国後、よく「世界大会はどうだった?」とご質問いただきます。この質問に一言で答えるなら「世界大会のスケールは想像以上だった!」です。開閉会式、滞在環境、競技施設、UAEのSOを取り巻く環境…などなど、枚挙にいとまがありません。また、大会自体はもちろんですが、隙間の時間を縫って行ったモスクや砂漠などの観光も素晴らしい思い出です。



©スペシャルオリンピックス日本



©スペシャルオリンピックス日本



私は、アブダビのピッチにチーム全員で立ったとき、「ここが長野のゴールだ」と一人感動していました。しかし、試合を重ねるごとに気持ちは変化していきました。競技が全て終わり表彰式をピッチ脇で待っているときには、「アブダビはスタート地点だ」そう思うようになっていました。

チームがより一つになり、より強くなり、より楽しくサッカーができる仲間となれるようにこれからも関わらせていただきたいと思います。あの素晴らしい舞台に長野チームが再び立てることを信じて。

(寄稿 パートナー 小山 光)



昨年に引き続き、ファミリー委員会主催の募金活動を、GW初頭の4月27日、28日の2日間実施しました。長野、松本、上田の3か所のJR駅前で、ファミリー・アスリートがチラシを配布したり、通り行く市民や観光客に声をかけ、活動資金のご協力をお願いしました。

足を止めて募金してくださった皆様、本当にありがとうございました。





## フィギュアスケートプログラム 長野市スケート競技大会に参加

### 氷上に満開の華！ 情感豊かに演技を披露



2019年3月9日(土) 第49回長野市スケート競技大会がエムウェーブで開催され、アスリート5名が参加しました。

今年の大会は午後6時からの開催となりました。アスリートは無級クラスに出場、1分間という短い時間の中、しなやかに、そしてのびのびと演技を披露してくれました。華やかな衣装に実を包み、堂々と演技するアスリートの皆さんがまるで、リンクの中から春を伝えてくれているようなひと時でした。

#### がんばれアスリート

### 伊藤 楓華さん

自分の輝ける場所で、たくさんの自信をもらっています。

初めまして。諏訪支部にてショートトラックスピードプログラムに参加しています。スピードスケートは保育園の年中から初めてから家族で取り組んでいます。

私は学生時代、高校までスピードスケートの選手として競技をしていました。楓華にもスポーツを楽しんでほしいと思い、スケートを教えた結果とても楽しく滑っていたので、楽しく滑るだけではもったいないと思い大会に出てみようと思いました。

まずは茅野市民大会そして小学校の大会へステップを重ねて行きましたが、学年が上がるたびにレベルの違いを痛感していました。

そんな中SOに出会いました。みんなが輝ける場所があることを知り、楓華も自信につながればと思い参加を決断しました。ただスピードスケートは練習環境が厳しくなかなかアスリート仲間が増えず悩んでいましたが、数年前に東京主催の野辺山合宿のお誘いをいただきました。最初は不安でいっぱいでしたが、一泊二日のプログラム日程はとても楽しく、なによりも、100人を超えるアスリートと一緒に交流できることのすばらしさを体験できました。

新潟ナショナルゲームにも参加をさせていただき、大会会場でたくさんの仲間もできとても楽しんでいます。私たち家族にはなくてはならないSOです。

また一般の大会にも参加をしていると、楓華を応援してくれる、他校のコーチや選手がたくさん増えました。昨年は中学校最大の大会中体連にも参加ができとてもよい体験ができました。

楓華の輝ける場所があり、またたくさんの自信をもらい、感謝しています。このすばらしいSOをもっとたくさんの方に知っていただき、笑顔を増やせればと思います。

楓華も世界大会を目標にがんばります。よろしくお願ひします。

(寄稿 ファミリー 伊藤成二)



#### プログラム紹介

### バスケットボール



現在バスケットボールは松本、上田、いほくの3会場で行われています。練習は各会場ともおおむね日曜日の午前中に行っており、体育館はいつも活気に溢れています。昨年より上田会場ではユニファイドプログラムも行われ、アスリートとパートナー(健常者)が同じチームメイトとして練習し、さらに技術の向上を目指しています。

バスケットボールプログラムは長野地区設立の時より行われているプログラムですが、アスリートやコーチの人数があまり増えていないのがちょっと残念です。

バスケットボールは全身を使う、とても良いスポーツです。

そしてSOでは、誰でも競技として楽しむ事が出来る様、アスリートの運動能力に合わせて「チーム競技」と「個人競技」があります。練習でも、アスリートの技術力に合わせた練習をしているので初めての人でも心配いりません。

バスケットボールがもっと上手になりたい方も、まだやった事がない方も、まずは日常プログラムを見に来て体験して下さいね。ステキな仲間が待っています。

(寄稿 ヘッドコーチ 山田清美)



ニュース

## GOAコーチクリニック・コーチ会議開催



4月21日にGOAコーチクリニックとコーチ会議を開催しました。

コーチ会議には、約50名のコーチが参加し、「夏季世界大会・アプダビ」に遠征した、ユニファイドサッカーの春原コーチから報告があった他、伊澤理事長より全国代表者会議の報告、冬季ナショナルゲーム北海道の説明等が行われ、充実した会議となりました。



ニュース

## 2019年認証状授与



SON・長野がスペシャルオリンピックス日本の地区組織として1年間(2019年1月1日~12月31日)、スペシャルオリンピックスの日常スポーツトレーニングプログラム及び競技会を主催することが認められ、また、SON・長野の名称で活動のための資金を集めること、ルールに従ってスペシャルオリンピックスの名称やロゴ及び旗を使用することが許可されました。



ニュース

## ご寄付・ご協賛・助成金・正会員・賛助会員のご報告 (2019年4月30日実績)

皆さまのご支援・ご協力に感謝いたします。(順不同 敬称略 万が一記載もれがありましたらお許しください。)

### ご寄付 (2018年1月1日~2019年4月30日)

セイコーエプソン株式会社  
株式会社シーディーホールディングス  
ホト株式会社  
富士ゼロックス長野株式会社  
松本土建株式会社  
長野西ロータリークラブ

J A 長野県グループ  
KOA株式会社  
株式会社みすずコーポレーション  
不二越機械工業株式会社  
TOY BOX  
国際ソロプチミスト佐久

伊那食品工業株式会社  
アート金属工業株式会社  
信濃毎日新聞株式会社  
長野ダイハツ販売株式会社  
国際ソロプチミスト長野  
澤田紀美子

マルコメ株式会社  
株式会社竹内製作所  
信越放送株式会社  
株式会社本久  
株式会社システックス  
荒木武貴

### ダイードリンク株式会社募金型自販機 設置ご協力

昭和電工株式会社  
長野都市ガス株式会社  
J A 信州うえだ本所  
信濃毎日新聞株式会社

株式会社サーキットデザイン  
ドリームモータースクール須坂  
長野クリーンシステム株式会社  
株式会社コシナ

株式会社長野地方卸売市場  
ドリームモータースクール昭和  
長野大学生協同組合  
株式会社サイベックコーポレーション

株式会社小賀坂スキー製作所  
富士ゼロックス長野株式会社  
株式会社協和食品  
富士電機パワーセミコンダクタ株式会社

### 正会員 (2019年2月1日~2019年4月30日実績)

宮沢忠雄 渡邊務

### 賛助会員 (2019年2月1日~4月30日実績)

齊藤剛	齊藤香織	田中允人	佐藤和秀	花見竜哉	花見公子	金箱英己	金箱礼子	渡邊悟	望月慎平
望月大輔	望月秀明	望月千佳子	馬場康平	馬場賢哉	武井園子	高橋正幸	高橋美枝子	田丸明衣	田丸美佳
宮澤左知子	伊東宏晃	伊東久子	勝俣彰	関智徳	関豊春	花井良	花井祐子	百瀬月陽	百瀬綾
小松正和	小松陽子	遠藤想大	小木曾太一	小木曾正樹	片平大地	杉山舜	柴宮翔太	菊池義彰	菊池元英
新海祐也	新海弘幸	上原共賀	上原由美子	畑口和					



編集後記

本号は「世界大会 アプダビ」中心の紙面となりました。

遠征を終えたアスリートやコーチ、パートナーのみなさんからお話を聞くと皆さん揃って「オリンピック並」の規模の大会だったと感想を話してくれました。開会式にはなんとアヴリル・ラヴィーンもスペシャルゲストとして参加したんだそうです。さすがオイルマネーの国ですね!

次回大会はストックホルム(冬季)、そしてベルリン(夏季)での開催が決定しているみたいです。奇しくもNHK大河ドラマ「韋駄天」と同じ道のりです。次回大会への参加も、皆さんにとっては目標のひとつとなるはず。これから夏本番を迎え、日常のプログラムがんばって下さい! 広報も次回はぜひとも同行すべくコツコツと貯金をしていこうと思います。

News Letter いろえんぴつ 第36号  
2019年5月20日発行

公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・長野  
〒380-0821  
長野市鶴賀上千歳町1120-17 Alegria 8F  
TEL.026-225-1550 FAX.026-217-4021  
URL.http://www.son-nagano.com  
E-mail.info@son-nagano.com

